



## カエルは、どのくらいジャンプできるの

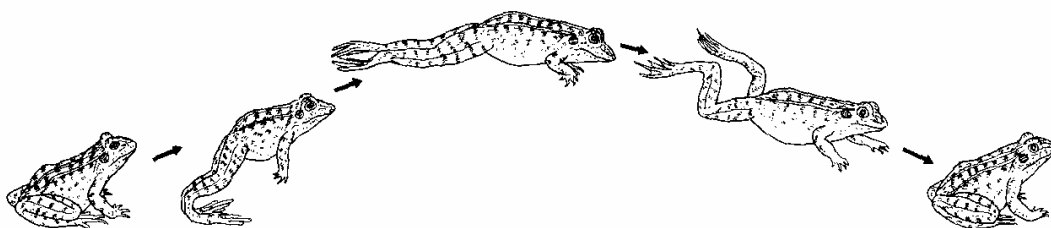
### ウシガエルは、5メートルもジャンプする

カエルは、<sup>まえあし</sup>前足より<sup>うしあし</sup>後ろ足の<sup>ほう</sup>ほうが3倍<sup>ばい</sup>くらい<sup>なが</sup>長く、<sup>すね</sup>すねや<sup>もも</sup>ももの<sup>きんにく</sup>筋肉も<sup>はったつ</sup>発達して<sup>つよ</sup>いて強くできています。そのため、<sup>じめん</sup>地面で1回<sup>かい</sup>ジャンプすると、<sup>じぶん</sup>自分の<sup>からだ</sup>体の<sup>なんばい</sup>何倍もの<sup>きょり</sup>きょりをとぶことができます。アメリカで行われているカエルとび大会では、<sup>たいかい</sup>体が<sup>おほ</sup>いちばん<sup>おほ</sup>大きいウシガエルの<sup>だん</sup>3段とびで、<sup>からだ</sup>5メートル<sup>おほ</sup>(<sup>からだ</sup>体の<sup>おほ</sup>大きさの<sup>ばい</sup>25倍)という<sup>きろく</sup>記録が<sup>のこ</sup>残っています。<sup>せかいきろく</sup>世界記録は、<sup>からだ</sup>アフリカハナナガガエルの<sup>おほ</sup>10.3メートルです。体が<sup>おほ</sup>大きいトノサマガエルは、<sup>ふつう</sup>ふつうでも、1メートルぐらいはジャンプできます。

### 3メートル先の枝に、とび移れるモリアオガエル

木の上<sup>き</sup>で<sup>うえ</sup>くらすアマガエルやモリアオガエルは、<sup>うしあし</sup>後ろ足でジャンプして、<sup>えだ</sup>枝から<sup>えだ</sup>枝へ、あるいは<sup>は</sup>葉へ、<sup>うつ</sup>とび移ります。モリアオガエルは、<sup>まえあし</sup>前足、<sup>うしあし</sup>後ろ足を<sup>ぜんぶひろ</sup>全部広げ、<sup>くうちゅう</sup>空中をとんで、3メートルもはなれた、<sup>べつ</sup>別の<sup>き</sup>木の<sup>えだ</sup>枝にとび移ることができます。

いつも<sup>じめん</sup>地面を、<sup>まえあし</sup>前足、<sup>うしあし</sup>後ろ足を<sup>かわる</sup>かわるが<sup>わる</sup>わる<sup>うご</sup>動かして<sup>ある</sup>歩いているヒキガエルなどは、ジャンプはあまり<sup>じょうず</sup>じょうずではありません。でも、<sup>むし</sup>虫をつかまえるときなどや、<sup>いそ</sup>急いでにげなければ<sup>ならない</sup>ならないときなどは、<sup>うしあし</sup>後ろ足でジャンプします。(監修・今泉 忠明)



トノサマガエルのジャンプ

